

富士宮高校会議所

星陵、富士宮西、富士宮北、富士宮東、富岳館、吉原、富士宮学園富士宮高校専修学校

高校生ボランティア・アワード2022

ベビーカーの2R

活動概要

【ベビーカーの2Rとは】

- ・2Rとは、リユース、リデュースのこと
- ・富士宮に住んでいる子育てを終えた家庭からベビーカーを提供してもらい、修理をして次の子育て世代の方たちに届ける活動

【この活動をしたきっかけ】

- ・街中で買い物をする時に、お母さんたちが赤ちゃんを抱っこしているのを見て何かお母さんたちの役にたてることはないかと考えたから
- ・株式会社コンビさんに今のベビーカーの現状をお尋ねしたところ、『生産台数＝廃棄数』が現状で、ほとんどのベビーカーが受け継がれていたり、使われずに廃棄されていると知ったから

【ベビーカーの2Rの活動に向けて行っていること】

①NPO法人母力向上委員会さんとの交流

(1回目)

この資料を作成するまでに計3回の交流を行っている。
富士宮市で子育てをしているお母さんたちのために活躍されているママさんたちが集まって活動をされているので交流をさせていただくことで、子育ての仕方やベビーカーの情報を教えていただいた。

(2回目)

子育てをしているお母さんたちに使用されたベビーカーを譲ってもらえるなら嬉しいかなど質問をするためにアンケートのとり方を教えてもらった。

すると、92%のお母さんたちが欲しいと回答してくれた。

(3回目)

2021年12月19日に富士宮高校会議所で赤ちゃんの抱っこの仕方やお着換えの仕方、ミルクのあげ方などを学んだ。赤ちゃんの人形を使って教えてもらうことで知識が増えた。

②エジプト カイロ大学の学生さんとのオンライン交流

この資料を作成した後に2回目の交流を行う。

そこで、海外のベビーカー事情をきいて今後の活動のヒントを得られるようにしたい。

③富士宮市の商店街増田恭子会長と交流をし、この活動に協力してもらえそうだ。

④NPO法人母力向上委員会さんにお力を借りて、ベビーカーを入手した。

このベビーカーを使って、修理の仕方や提供方法など実際に活動するうえで壁にぶつかりそうなことを予想して色々対策を考えていく。

⑤ベビーカーの修理に協力してもらえよう高校に協力の依頼

富士宮市立富岳館高校のものづくり部が修理等のメンテナンスを行ってくれることになった

⑥ベビーカーの2Rの呼びかけ

ラジオエフや静岡新聞さんなど多くのメディアの方々に取り上げてもらったり、富士宮市長の須藤秀忠さんに、この活動意図や魅力を伝えている。



「地域の方々、環境を思いやる」

ボランティアの活動をするにあたって一番心がけていることは、「地域の方々に笑顔にすること」だ。特にベビーカーの2Rに関しては、子育てをしているお母さんたちに笑顔になってもらいたいという思いが強い。富士宮だけではなく全国の地域でお母さんたちを支えるためにベビーステーションの設置をはじめとする多くの支援を行っている。でも、ベビーカーを高校生たちの手で修理して提供して支えることは全国でも初めて私たちが最初だと思う。前例がないためこの活動をどうやって形あるものにするかは私たちの発想力や思いやり、そして行動力が実現への大きなカギになると思う。

また、お母さんたちを笑顔にするだけではなく、環境にも優しい活動をする事で多くの世代に必要とされる価値ある活動になると思う。活動概要でも述べたように、耐久性に優れたベビーカーはもっと世代を超えて使われる価値のあるものにもかかわらず、行先に困って結局は廃棄されてしまう。これは環境にも非常に悪いと思う。

私たちが行う活動は地域の方々の支援や温かい見守りがあってできることなのである。そのため、地域の方々に笑顔にするような活動をしていっただけではなく、プラスとして環境保全をすることでいいことを増やすことができると思う。そしてこの活動の最終目標はベビーカーの2Rの活動が全国に、世界で行えるようにすることである。

「SDGs実践 富士宮市と世界を活性化」

ステップ1

- 行き場に困ったベビーカーを提供してもらう。
- ①無料で提供してくれる提供者を探す
 - ②富士宮市内の高校の協力を得てベビーカーの修理をする
 - ③ベビーカーを欲しい方に提供する
- 【目標】
1か月で3個以上提供する



ステップ2

個人にベビーカーを届けるだけではなく、公共施設にも設置させてもらう。
例) 富士宮市内にあるAEONさん
富士宮浅間大社をはじめとした観光地
スーパーマーケット、コンビニ



3ステップ

発展途上国にベビーカーを届けることでベビーカーを必要とする人々に届ける
【目標】
継続的に届ける

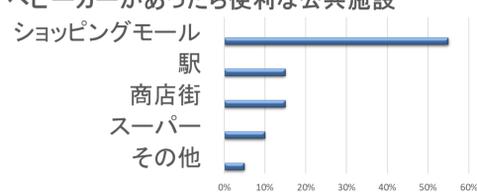


(ACC国際交流学園の方と交流した写真)

「ベビーカーの2R導入後の富士宮」

●公共施設により人が集まる

ベビーカーがあつたら便利な公共施設



(母力向上委員会さんの協力)

上記のグラフからわかるように、公共施設にベビーカーを普及することでママさんたちが買い物をしやすくなる。
2人用のベビーカーも導入することで多くのママさんに利用してもらえる。

●発展途上国にベビーカーを譲渡

- ①赤ちゃんを連れて移動しやすくなる
- ②赤ちゃんだけではなく、モノを運ぶ手段としても利用できる

●観光地に導入し来る観光客の増加

富士宮市内の観光地は、浅間大社や田貫湖、白糸の滝をはじめとする多くの場所は歩いてみるなので、ママさんの負担が減る



<https://blog-imgs-84.fc2.com/r/e/n/rennaiv/20160407132646fe3.jpg>

<https://chafuka.jp/cms/files/chafuka/user0493/0300/c1ly6sa.jpg>

アンケートをとったうち約93%のママさんたちが実際に観光地にベビーカーがあつたら利用したいと答えてくれた。

●持続可能な社会をみんなで作る

- 次の人に譲ることでゴミの数も減り環境に良い
- ベビーカーの再利用が広まることで、次にどんな物を再利用できるのか新しくアクションを起こす人が現れる



活動団体プロフィール

- ・富士宮高校会議所は富士宮市内の高校生から構成されている
- ・高校生の視点で地域復興を目指している
- ・地域における人材を育成しようとしている
- ・ボランティア活動を通して進学や就職にむけての学習意欲の増進を目指している
- ・富士宮高校会議所では5つの主な活動を通して地域貢献をし地域活性化を目指す
- (交流、イベント創出、探究、提言、ビジネス)
- ・ベビーカーの2Rという活動の他に、「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気に」、「富士宮を笑いで元気に!」をテーマに「宮D1グランプリ」や「宮O1グランプリ」を行い富士宮を盛り上げている
- ・SDGsに多くの小学生が興味を持ってもらえるように、「夏休み自由研究応援隊」を開き風力発電にチャレンジしてもらう
- ・「音楽で富士宮を元気に!」で地域の方々にメンバーの音楽を聴いてもらう